

都立高校における「キャリア教育」を考える

企業・NPOと連携した 社会的・職業的自立支援事業について

昨年2月に策定された『都立高校改革推進計画・第一次実施計画』において、目標Ⅱとして、変化する社会の中での次代を担う人間の育成を掲げています。

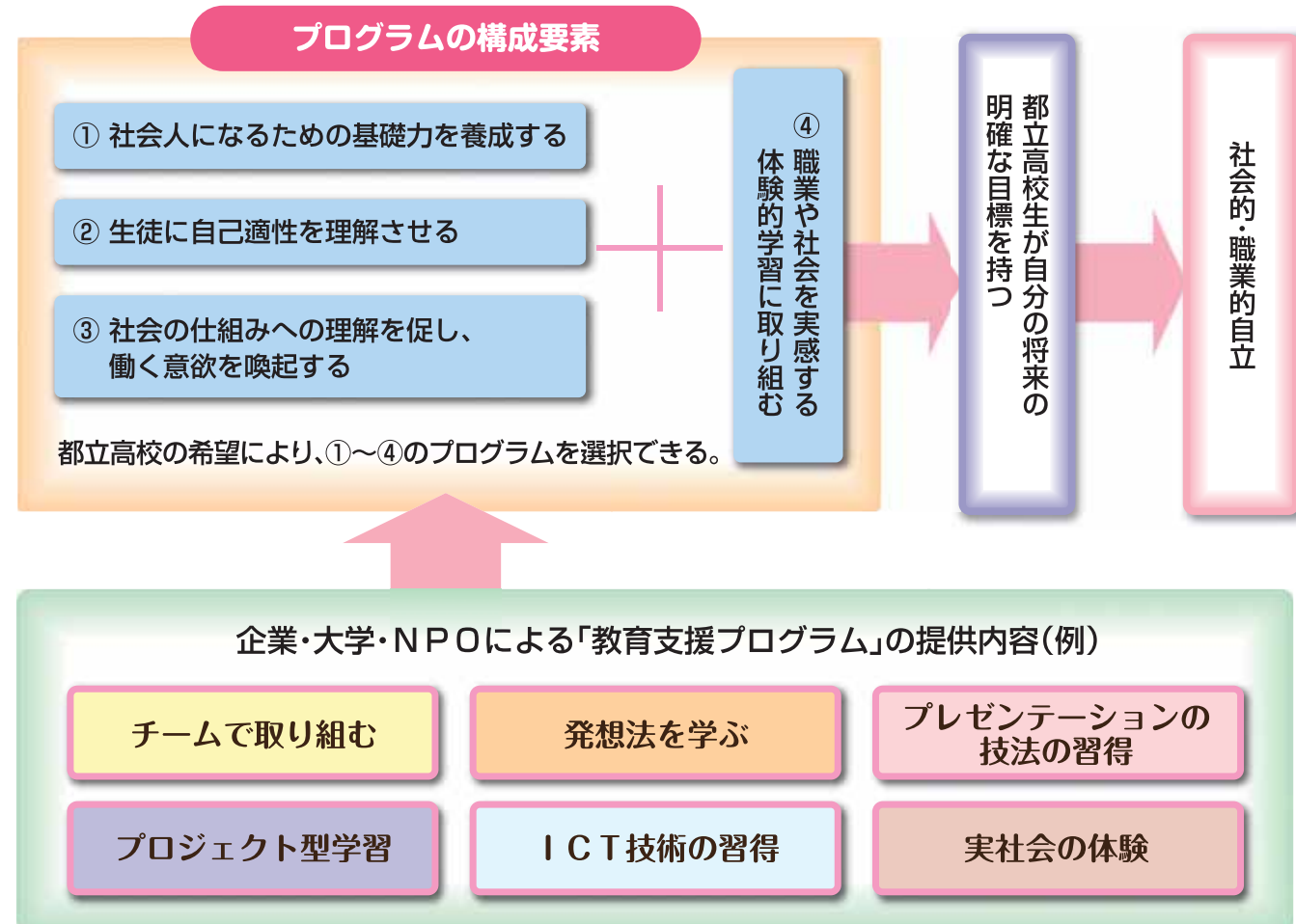
具体的には、キャリア科目の導入や、職業についての体験的な学習を通じ、自立し将来の社会を支えるタックス・ペイヤーとして必要な意欲や能力を身に付けさせることを目指しています。



都教育委員会では、都立高校におけるキャリア教育の取組を充実させるために、企業やNPO等の協力のもとに、「社会的・職業的自立支援事業」を平成25年度から実施していきます。今回は、この事業のねらい、そして、平成24年度に試行的プログラムに取り組んだ都立高校の先生や生徒の声を紹介してきます。

【事業のねらい】

企業や大学、若者支援に関する専門的知識や経験を有するNPO等と連携し、都立高校生が社会や職業について、実感をもって理解しながら、将来社会人・職業人として生活していくために必要な能力等を身に付けることができる教育プログラムを普通科高校を中心に実施する。



「社会的・職業的自立支援事業」のメニュー

(例)「からだで感じる コミュニケーションワークショップ」 (ドラマケーション普及センター)



- やさしく楽しい体感的ワークショップを通じて自己認識や他者理解を深め、キャリア意識を高める
- 人前で自己表現力のアップを図り、一步前に出る積極性を引き出す

① 社会人になるための基礎力を養成するプログラム

- 職業人意識 (責任感、向上心・探究心、職業意識・勤労観)
- 社会人常識
- 基本的ビジネスマナー
- 意思疎通
- 協調性

② 生徒に自己適性を理解させるプログラム

- 学ぶことの意義
- 個性、適性を考える
- 高校生活の目標を設定する

③ 社会の仕組みへの理解を促し、働く意欲を喚起するプログラム

- 自立することを考える
- 働くことの意義を考える
- これからの社会を考える
- 自分がどのように社会に貢献していくか考える
- キャリアプランを立てる

④ 職業や社会を実感する体験的学習に取り組む

- 様々な職業を体験する機会を提供する
- インターンシップ体験
- プロジェクト学習
- 商品企画・開発

(例)「働く人のカッコよさを見つける 職業人インタビュー」 (NPO法人じぶん未来クラブ)

- 働く人のやりがい、日々の努力を発見し、働くことに前向きな気持ちになる
- インタビューで何を聞くのか、グループワーク
- 「会いたい人」に自分でアポイントメントをとり、取材に行く
- インタビュー内容をプレゼンする

(例)「企業探求プログラム」 (株式会社教育と探求社)

- 企業におけるインターンシップを教室で体験するプログラム

活動の準備をする

- ① 企業にエントリーする ② チームをつくる
- ③ 新人研修に取り組む ④ 課題を報告する

ミッションに取り組む

- ⑤ ミッションを受け取る ⑥ 企画会議を開く
- ⑦ 企画案を決定する ⑧ プランをつくる (1) (2)

プレゼンテーションをする

- ⑨ プレゼンテーションの準備
- ⑩ プレゼンテーション (1) (2)



(例) MY FUTURE CAMPUS サマーインターンシッププログラム (株式会社マイナビ)

- 社会人+大学生+高校生がチームを組んで、高校生向け夏休みイベントの企画に携わります。
【高校生の個人参加プログラム】
(内容) 企画会議、社会人訪問、マナー研修、原稿を作成するために必要な文章力講座